

## 東京の廃棄物をテーマとする国際的なデザインコンペティション 「ノー・ウェイスト・チャレンジ」を開催

このたび、What Design Can Do(以下、WDCD)は、イケア財団とパートナーシップを締結し、気候変動に関する3回目のアクションプログラム「ノー・ウェイスト・チャレンジ (No Waste Challenge)」を開催します。

このチャレンジは、廃棄物と消費主義の気候変動への影響をテーマとする、国際的なデザインコンペティションです。世界中のデザイナーや起業家などを対象に、廃棄物を減らし、現在の生産と消費のサイクルを見直す革新的なアイデアを世界6都市で同時募集します。

日本ではSHIBAURA HOUSEが、オランダ・アムステルダムを拠点とするWDCDと契約を結び、WDCD Tokyoとしてコンペティションを運営。応募に関するオリエンテーションや関連イベント、長期的な協働パートナーなどの募集を行っていきます。

>>> 詳しい情報は [whatdesigncando.jp](http://whatdesigncando.jp) をご覧ください

## 「ノー・ウェイスト・チャレンジ」の概要

### ◎ 募集テーマ

「東京において、廃棄物を減らし、現在の生産と消費のサイクルを見直す革新的なアイデア」

### ◎ キーワード

- サステナビリティ/サーキュラー・エコノミー/ドーナツ・エコノミー

### ◎ 募集対象

- コミュニケーション(情報/映画/音楽など)
- プロダクト(ファッション/フード/マテリアル)
- スペース(建築/インテリア/ランドスケープ)
- サービス・システム(人の行動に影響や相互作用を与えるもの)

### ◎ 募集期間

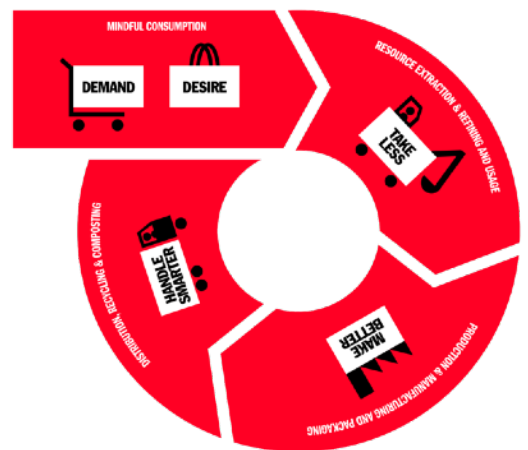
2021年1月12日～4月1日

### ◎ 審査

選考は専門家、政策立案者、起業家、デザイナーで構成される国際的な選考委員会によって行われます。最終的には、東京も含め、世界から10以上の提案が受賞する予定です。「インパクト」「独創性」「実現可能性」などが主な審査基準となります。

### ◎ 受賞特典

- 10,000ユーロ(約130万円)
- 6ヶ月間のデベロップメント・プログラムへの参加
- 世界の投資家とのネットワーキング
- さまざまなメディアへの露出



▲ 天然資源の採取を抑制し、廃棄物を少なくする  
サーキュラー・エコノミーを志向するアイデアを求めています

# What Design Can Do と社会的インパクト

WDCDは2011年にスタートしました。社会変革のためのツールとして、デザインの力を活用するプラットフォームです。社会が直面する重要な課題に取り組もうとするなかで、クリエイティブなコミュニティの力を示すことを目的としています。2016年にはチャレンジプログラムをスタートし、難民問題や気候変動といった、スケールの大きな社会課題とクリエイティブコミュニティを繋いでいます。

クリーンエナジー  
チャレンジ  
(2018-19)

**1500**  
万回

WDCD の  
すべてのソーシャルメディアに  
おけるインプレッション数

WDCD の  
世界的な  
コミュニティ

**72**  
カ国

各チャレンジごとの  
平均参加国数

アクセレレーター  
プログラムの  
成果

**80%**  
成功

40 をこえるアイデアの  
実現をサポートし、  
そのうち 32 が事業化に成功

受賞者に対する  
投資家たちの  
投資額

**5**  
百万€

(約 6 億円)  
チャレンジプログラムに  
参加したスタートアップに対して

What Design Can Do 「ノー・ウェイスト・チャレンジ」 | [whatdesigncando.jp](http://whatdesigncando.jp)

運営 | What Design Can Do SHIBAURA HOUSE    メインパートナー | イケア財団  
ローカルパートナー | オランダ王国大使館 creative industries fund NL    コラボレーションパートナー | kiji arita

WDCD TOKYO オフィス (SHIBAURA HOUSE 内)

〒108-0023 東京都港区芝浦3-15-4    Mail: [info@shibaurahouse.jp](mailto:info@shibaurahouse.jp)    TEL: 03 5444 6446 (担当: 佐脇)